

大 ジェスト DAI通信



Tsukamoto Dai Digest

自民党厚生問題対策連絡協議会



自民党厚生問題対策連絡協議会の委員として、県内の民生・衛生関係所属団体と社会福祉協議会所属団体から要望を聞き、意見交換をしました。各団体から頂いた要望は、会派内で調整し、知事への「平成26年度当初予算に対する要望」に盛り込みました。

飛躍の年、新しい地域づくりへ

新春を迎え、皆様が幸せを実感し、希望の持てる年にありますよう、ご祈念申し上げます。

さて、県政におきましては、平成26年度が総合計画の次期基本計画の初年度であり、地震津波対策などの県民の生命と財産を守る施策の展開や、厳しい雇用環境の改善と産業の育成、医療・福祉・教育の充実など、県民生活に密着したサービスの充実を図り、地に足を着けた県政運営を行うことが重要となります。

さらに、平成25年3月末時点の人口動態調査において、県は、全国4番目に人口減少数が多いという状況であり、子育て支援策の充実等の人口減少対策や将来の人口減少を見据えた社会資本整備等の施策の検討を行う必要があります。こうした状況を踏まえ、私が所属しております自民改革会議では、昨年、県内各地域、各団体からの聞き取り調査をもとに、県民の求める要望を各分野にわたり取りまとめ、予算編成に重点的に対応されるよう、知事に要望書を提出致しました。(下記に掲載してありますので、ご覧下さい)今後も、地元の皆様のご意見・ご要望が、県政運営に反映されるよう努力して参ります。

12月定例会(12月20日閉会)では、本年度の一般会計に富士山静岡空港株式会社への出資金1億1千万円を追加する補正予算案が可決されました。(代表質問「先導的空港経営について」参照)

今後も、暮らしの「いま」と「未来」をしっかり見つめ、住みやすい地域づくりに努めて参ります。これからも「大ジエスト」や「ホームページ」で議会活動を掲載してまいります。是非ご覧頂き、皆様のご意見を頂ければ幸いです。

塚本 大

平成26年度当初予算に対する要望

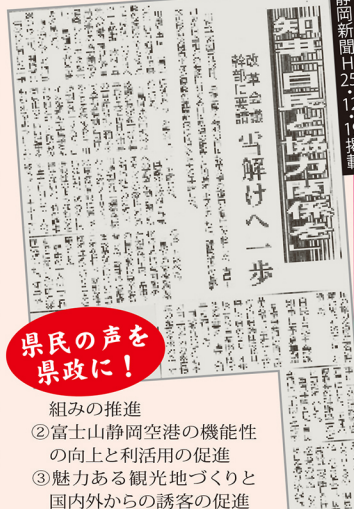
自民改革会議として、川勝知事に要望書を提出致しました。 ※詳しい内容は、ホームページに掲載してありますのでご覧ください。



- 「地震・津波対策アクションプログラム2013」の早期具体化を図ること。
 - 防潮堤の整備、耐震化等、津波対策施設の整備を推進
 - 大規模建築物等の耐震化への支援等、建築物等の耐震化の推進
 - 防災教育や防災訓練の充実などによる地域防災力の向上
- 中小企業への支援等、産業競争力の強化や農林水産業の振興を図るための施策の充実を図ること。
 - 中小企業の受注機会を拡大を図るた



- め支援の充実
 - 次世代産業の創出の支援
 - 企業誘致推進のための支援制度の充実、工業用地等の基盤整備の推進
 - 農林水産業の振興を図るための各種支援の充実
- 人口減少への対策を含め、安心な社会の実現に向けた医療・福祉施策の充実を図ること。
 - 保育所待機児童解消に向けた施策の充実
 - 医師・看護師の確保をはじめとした医療体制整備の充実
 - 障害者、高齢者などの社会的弱者への支援の充実
- 学力向上などに向けた教育環境の充実を図ること。
 - 学力向上に向けた環境整備など教育の質の向上
 - 人口減少対策も含めた高等教育の充実
 - 私立学校教育の充実
 - 特別支援教育に係る教育環境の充実
- 豊かなくらい実現に向けた社会環境基盤の整備を進めること。
 - 道路、河川、橋よう、港湾などの社会環境の整備の推進
 - 治山、地すべり対策など災害防除対策の推進
 - 適正な維持管理による施設の長寿命化の実現
- 本県の魅力を活かした観光・交流事業の推進を図ること。
 - 富士山の後世への継承に向けた取り組みの推進
 - 富士山静岡空港の機能性の向上と利活用の促進
 - 魅力ある観光地づくりと国内外からの誘客の促進



県民の声を県政に!

本会議

※本会議・各委員会の内容は、平成25年12月定例会を基準に作成されています。(昨年=平成24年、今年=平成25年、来年=平成26年)

『兵庫県災害医療センター』視察



兵庫県災害医療センターは、自治体が設立する初の災害医療センターとして、平成15年に開設されました。兵庫県の基幹災害拠点病院及び高度救命救急センターに指定されているほか、日本DMAT研修の西日本の拠点にもなっています。災害医療、高度救命救急医療の提供体制、DMAT養成状況について視察しました。

日本版DMATは厚生労働省の肝いりのもと、平成17年4月に発足しました。全国の災害拠点病院などの医療チームが3日ないし4日間、缶詰めになって集中トレーニングを受け、試験に合格したものが認定されます。地震などの大災害時には、「真っ先に被災地に入っての医療活動」や、「傷病者を被災地外に運び出して治療するための自衛隊機やヘリなどでの広域搬送」を担当します。



※DMATとは、「災害急性期(48時間以内)に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義され、Disaster Medical Assistance Team(災害派遣医療チーム)の頭文字をとって「DMAT」と呼ばれています。

- ### 自民改革会議
- 〈代表質問〉
- 自民改革会議としては、本会議において、以下の内容を代表質問致しました。
- 知事の政治姿勢について
 - 新総合計画策定について
 - 人口減少対策
 - 高等教育機能の充実
 - 来年度当初予算編成について
 - 新たな行財政改革大綱の策定について
 - 市町や民間と連携した行財政運営の推進
 - 健全財政の堅持
 - 富士山の利用者負担制度について
 - 県立病院機構の中期目標
 - 知事のご挨拶
 - 新総合計画策定について
 - 人口減少対策
 - 高等教育機能の充実
 - 来年度当初予算編成について
 - 新たな行財政改革大綱の策定について
 - 市町や民間と連携した行財政運営の推進
 - 健全財政の堅持
 - 富士山の利用者負担制度について
 - 県立病院機構の中期目標
 - 今後の警察行政について
 - 栄養教諭の増員
 - 副教材の選定方法
 - 幼児教育の充実
 - 小学校への教科担任制の導入
 - 学力向上に向けた取り組み
 - 企業局の中期経営計画の策定について
 - 教育政策について
 - 学力向上に向けた取り組み
 - 小学校への教科担任制の導入
 - 幼児教育の充実
 - 副教材の選定方法
 - 栄養教諭の増員
 - 今後の警察行政について

2011年(平成23年)12月定例会の一般質問で塚本が取り上げた「県道焼津森線のその後の整備状況」

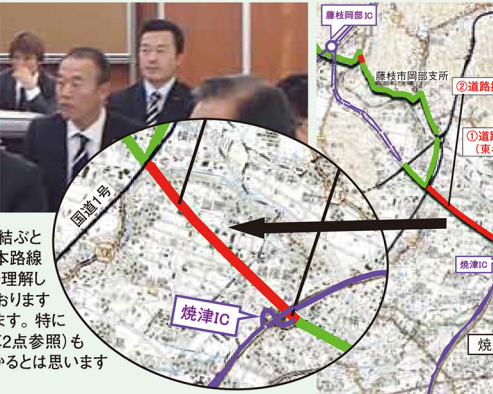
平成23年12月定例会の一般質問で塚本が取り上げた「主要地方道焼津森線」には、整備促進を目的とした期成同盟会が存在します。同会の顧問を務める塚本は、関係者とともに毎年度要望活動を行っています。



今年度も関係部局に要望を行い、交通基盤部から、「志太榛原地区と中東遠地区を結ぶ重要路線でありまして、新東名高速道路は開通されましたが、そのインター等をつなぐアクセス道路となっており、特に焼津・藤枝区間は、現東名高速道路を結ぶということから県としても大変重要路線と意識しております。また、本路線地域の生活、産業、経済に無くてはならない道路ということは十分理解しており、全長70kmと大変長い道路ではありますが、想定されております大地震等にも対応していけるよう頑張っていきたいと思っております。特に重要路線であります焼津・藤枝区間の広橋橋(右記掲載の写真2点参照)もようやく完成が目途がつくところまで来ました。もう少し時間がかかると思いますが、頑張ってい進めてまいります。」との回答を頂きました。

焼津市

①道路拡幅改良(東名焼津インター～藤枝市境)L=0.9km
東名焼津インターから藤枝市境までの区間約0.9kmは、現東名高速道路と新東名高速道路を結ぶ重要路線であり、平成24年4月に新東名高速道路が開通し、今後、交通量の大幅な増加が予想されますので、計画的な事業促進が図られますよう要望致します。



藤枝市

②道路拡幅改良(焼津市境～国道1号)L=1.5km
焼津市境から国道1号までの区間約1.5kmは、現東名高速道路と新東名高速道路を結ぶ重要路線に位置づけられており、慢性的な交通渋滞の緩和と幹線道路ネットワークの強化を図るため、早期の整備完了を要望致します。



整備進捗状況

前回要望時の写真(広橋橋付近)

今回要望時の写真(広橋橋付近)

計画が成案になるまでには、更に一層、議論を深め

【知事答弁】
計画策定に当たりましては、自民改革会議の皆様方から91項目に及ぶ大変貴重な御提言を頂き、改めて感謝しております。最優先で取り組むべき防災・減災計画と強靱な県土づくりを始め、人口減少への対応、景気・雇用対策、教育改革、行財政改革など喫緊の課題への対応や世界遺産富士山を後世へ継承する取り組み、東京オリンピック・パラリンピックをも見据えた交流人口の拡大など、頂いた提言・政策につきましても、私と致しまして、全力を挙げて取り組むべき課題であると認識しています。可能な限り次期計画の施策・事業に取り込ませて頂き、数値目標の見直しなど、所要の対応を図つたところでございます。

【質問要旨】
自民改革会議では、去る10月17日に、県民の関心が高い防災・減災対策をはじめ、依然として厳しい雇用情勢への対応、早急な学費向上対策など、次期計画に対する政策を取りまとも、知事に提言したところである。そこで、我が会派からの提言を踏まえ、どのような計画を策定したのか知事の所見を伺う。

【質問要旨】
答弁内容の一部紹介
質問要旨と
新総合計画策定に向けた知事の決意

【知事答弁】
この空港運営につきましては、将来的には、民活空港運営法に基づきまして空港の運営権を民間事業者に譲渡し、その事業者が、空港全体を一体的に運営するという、国内では例のない、新しい運営体制の実現を目指します。

【知事答弁】
県はどのような運営体制を目指しているのか、またなぜ、ビルの県有化が必要なのか、その理由を伺う。

世界お茶まつり2013 秋の祭典



11月7日から10日までの4日間、静岡市のグランシップを会場に開催した「世界お茶まつり2013秋の祭典」は、29カ国から、来場者数約101,500人の参加があり、大盛況のうちに幕を閉じました。

今回は、「富士山」、「茶草場農法」、「和食文化」の世界遺産とお茶を一体的なテーマとした展示、お茶と食の仕事人の創るスイーツのコラボレーションなど、新しいO-CHAの楽しみ方の提案、お茶の機能性・効用についての最新情報の発表など、多彩なプログラムを通じてお茶の魅力をお茶の都「静岡」から国内外に向けて発信しました。

第5回児童虐待防止 静岡の集い



11月の児童虐待防止推進月間に合わせて、県内の児童福祉関係団体で構成する実行委員会(県を含む)が、「第5回児童虐待防止 静岡の集い」を開催し、静岡県議会厚生委員会副委員長として出席させて頂きました。

また、現在の旅客ターミナルビルでは、複数の国際線と同じ時間帯に受け入れることが難しい状況で、利用者の休憩場所も狭うございますので、ビル利用者の希望に応えられないという課題がでてきております。今後、新規路線の誘致や増便を実現するには、こうした課題を早急に解消する必要があります。そこで、現在のビルを県有化した上で、西側、すなわち内陸側に国内線専用のビルを増築致します。現在のビルは国際線専用として、国際線機能や物販・飲食・休憩スペースの拡充など旅客ターミナルビルの利便性の向上を図ってまいりたいと考えております。

第15回静岡県障害者芸術祭



芸術を介して障害の有無、年齢、性別などを越えて多くの人が集い、交流し感動を分かち合いながら、障害福祉への関心と理解を深めることを目的に、障害者週間(12月3日から12月9日)の関連啓発行事として、静岡県障害者芸術祭が開催され、静岡県議会厚生委員会副委員長として出席させて頂きました。

障害のある人に芸術活動の発表機会を広く提供することにより、障害のある方々の芸術文化等の創作意欲を高め、社会参加を促進することも目的としています。

【質問要旨】

県は、ライフラインの被害、交通施設等の被害、経済被害や住居機能、医療機能、物資などの生活支障等に係る想定を第二次報告として公表した。

この第二次報告に併せ、「地震・津波対策アクションプログラム」において、最大クラスの地震・津波に対して「想定される犠牲者を今後の10年間で、8割減少させることを目指す。」と

【質問要旨】

(9)第4次地震被害想定第2次報告に伴う減災目標について

【知事答弁】
 最も多くの犠牲者が想定されている津波に対しましては、津波の浸水域を減少させるべく、到達時間を遅らせるために、防潮堤等の施設高の確保と粘り強い構造への改良を沿岸80kmにおいに行い、それとともに津波避難施設空白地域を解消できるように、命山や津波避難タワー等の整備を促進してまいります。

【知事答弁】
 具体的な数値目標を設定した。この減災目標を達成するため、県はどのように取り組んでいくのか伺う。

また、地域の特性に応じた避難訓練や緊急速報メールによる津波警報等の確実な情報伝達を充実・強化し、津波からの早期避難を徹底することなどにより、津波の犠牲者数の大幅な削減を図ってまいります。

このような対策の実施には、市町による積極的な取り組みが不可欠でありますことから、9月議会でも御議決頂いた3年分の緊急地震・津波対策交付金事業費92億円を一括交付致しまして、命を守るための事業を前倒しできるように支援してまいります。

厚生委員会 『徳島県立中央病院』視察



徳島県立中央病院は、平成24年10月に新病院が完成しました。新病院は救急、がん、小児・周産期、精神、災害医療などの政策医療に特化し、24時間365日急性期医療を提供できる県の基幹病院です。がん治療に有効な最新のリニアックも整備されています。



また、徳島県は10万人当たりの医師数が全国1位(平成20年現在)、医療施設数、病床数でも全国上位となっているため、高度医療提供体制のほか医師確保対策についても視察しました。

厚生委員会 『兵庫県立総合リハビリテーションセンター』視察



兵庫県立総合リハビリテーションセンターは、昭和44年に開設されて以来、職業能力開発施設、自立生活訓練センター、福祉のまちづくり研究所などの医療・福祉関係の多様な施設が集約化整備されており、



高度で専門的な医学・社会・職業リハビリテーションサービスを一体的に提供し、障害者や高齢者の自立した生活や社会参加を支援しています。リハビリテーションの先進医療状況を視察しました。

国の調査研究事業の結果によると、2ヶ月前から予約を受ける事業所が7割1ヶ月前から2ヶ月前に申込みをする利用者は5割となっており、かなり前から申し込むことが多い。シヨートステイに対する要望としては、緊急時の受入れや利用日程の柔軟な調整が多い。本県では、特別養護老人ホームの整備に当たって、シヨートステイの併設を進めてきており、引き続き、特別養護老人ホームの整備と合わせてシヨートステイの整備を進めていく。

厚生委員会

厚生委員会での質疑応答の一部紹介

シヨートステイの整備状況

本県の充足状況について伺う。

シヨートステイの利用日数は、介護保険制度施行時の平成12年度が約32万4千日に対して、24年度は129万3千日余と約4倍と大幅に増加している。また、サービスを提供する指定事業所は、制度施行当初は113事業所であったものが、本年4月1日現在で260事業所、定員は4千395人となっている。利用日数では、要介護認定者数と比較すると全国平均を大きく上回っている。シヨートステイの利用が多いということは、なかなか申し込みができないということか。緊急な場合の状況はどうか。

人工透析患者について

人工透析患者は週に3回透析に通い、1回あたり透析に4〜5時間かかっているが、現在の透析患者の状況について伺う。

人工透析患者数は1万107人、医療機関の数は116ヶ所、ベッド数は4千16床で週2〜3回、透析に通っている。災害時における透析患者の広域搬送システムはどのようなになっているのか。

患者の搬送を含めた災害時における透析患者への対応については、透析病院の医師から成る「県腎不全研究会」と患者団体である「県腎友会」と協議を進めている。協議内容は、第4次被害想定を基に、津波被害がなく、

厚生委員会 『(株)大塚製薬工場 松茂工場』視察



松茂工場は、平成2年に操業を開始しました。プラスチック安ぷり注射薬、各種ソフトバッグ入り輸液の製造を主とし、平成7年10月には、世界初のダブルバッグタイプの抗生剤キット製品の製造を開始するなど、プラスチック容器入り注射剤の主力工場としての役割を担っており、医薬品等品質確保対策事業について視察しました。



輸液は、その製剤的な特性を生かして多種多様な場面で用いられ、医療現場にとって必要不可欠な薬剤となっています。

※輸液とは、いわゆる点滴液のことで、生命維持にとって基礎的かつ重要な薬剤です。例えば、脱水症状の改善、手術や疾患による体液異常の是正、食事が十分にとれない時の栄養補給、緊急時の薬剤投与のための血管の確保、特殊な病態の治療などが輸液の目的です。



中国による防空識別圏の設定の即時撤回を求める決議

去る11月23日、中国政府は「東シナ海防空識別区」を設定し、当該区域を飛行する航空機に対して中国国防部の定める規則を適用するとともに、これに従わない場合には中国軍による防衛的緊急措置をとる旨発表した。

今回発表された措置は、東シナ海周辺における現状を一方的に変更し、現場上空において不測の事態を招きかねない極めて危険なものである。

また、国際法上の一般原則である公海上空における飛行の自由の原則を不当に侵害するものであると同時に、アジア太平洋地域ひいては国際社会全体の平和と安定に対する重大な挑戦である。東シナ海は多数の民間航空機の飛行経路で、民間航空の秩序及び安全への影響の観点からも大きな問題である。

さらに、中国政府が設定した防空識別区は、我が国固有の領土である尖閣諸島の領空を含むもので、断じて容認できない。本県議会は、中国政府に対し、公海上空における飛行の自由を妨げるような今回の一切の措置について即時撤回するよう強く要求する。

併せて、政府に対しては、国際社会や国連などの国際機関と緊密に連携しつつ、我が国の主権と国民の生命・財産を守るため、必要な措置を講じるよう強く訴える。以上、決議する。



116病院のうち夜間透析に対応しているのは52病院であり、8つの二次医療圏全てに対応病院がある。ベッド数は4千166床中、2千374床が夜間対応分である。夜間のベッドの稼働率は46%となっており、夜間透析に通う患者数は19%程度となっていることから、

少し余裕があるものと考えられている。助成については、診療報酬による加算が300点あり、他の助成制度と同様、県としての助成は難しいものと考えられる。人工透析患者への対応については、今後も詳細な情報に基づき、腎不全研究会や腎友会と協議を進めてまいります。

その他の委員会での質疑応答の一部紹介

くらし環境委員会

リニア中央新幹線の環境影響評価に関し、JR東海の環境影響評価準備書で示されている、大井川水系の源流において流量が毎秒2トン減少することへの懸念と県の対応について伺う。

今まで静岡市だけが関係市とされてきたが、大井川下流域の市町にも影響を及ぼす大きな問題であると認識しており、大井川水利調整協議会へもこの問題を伝えていく。

※なお、本案件については、委員から、希少野生動物や生態系等の自然環境に与える影響、残土処理場への懸念、関係自治体との連携状況、南アルプスのユネスコエコパーク登録に与える影響など多数の質問がありました。

静岡県議会議員 県政報告

つかもと大だい

2014 February

発行日: 平成26年2月1日
発行所:
〒425-0062
静岡県焼津市中根新田1157
TEL 054-624-1555
FAX 054-624-1333
発行人:
塚本 大



Tsukamoto Dai

厚生委員会 『株式会社いろいろ』視察



株式会社いろいろは、徳島県上勝町の第三セクターの1つで、資本の70%を上勝町が出資しています。季節の葉や花、山菜などをツマモノとして全国に販売する彩(いろどり)事業において、重要な役割を担う情報ネットワークシステムの運営など、彩事業の実質的な運営を一手に引き受けています。



高齢化率が約50%という地域で、地域資源を活用したビジネスモデルを確立し、高齢者の社会参加を促進している取り組みであり、産業福祉モデルとして視察しました

※ツマモノ…料理に添える大葉や食用菊、花や枝葉等のこと。

厚生委員会 『兵庫県立清水が丘学園』視察



兵庫県立清水が丘学園は、全国的にも数少ない子ども心理治療施設で、児童精神医学、児童福祉等の各専門スタッフが連携し、不登校などの悩みを抱えた子どもや親への総合的な援助を行っています。



建物の老朽化及び受け入れ児童数の増加に対応するため、平成24年に個室を主体とした建替えが完了しました。施設の建替え状況と効果、運営状況等を視察しました。

ハンセン病療養所訪問



静岡県議会厚生委員会正副委員長と地元県議(御殿場市)で、県内のハンセン病療養所を訪問しました。神山復生病院共同墓地と国立駿河療養所納骨堂にて献花をさせて頂き、それぞれの施設で静岡県人会の方々とお話をさせて頂きました。

となつている。取り締まりの強化等の対策を行っているが、不十分な安全確認や誤操作等、取り締まりによる抑止になじまない事故原因が多く、交通規制による抑止が及ばない道路外における事故も増加している。特に、高齢者関連の事故防止のため、高齢者に対する抽出検問や交通安全教育を行っているが、今後さらに、高齢運転者に対し、夜間や悪天候時、体調不良の際には運転を控えるよう、運転自粛の呼びかけを行うことを検討している。

国においては、新たな助成制度の設計に当たっては、難病患者の低所得者層に配慮しつつ、負担の増加を求めることのないよう強く要望する。

- ① 国家公務員の定員削減計画
- ② 賃金職員の正規職員化に向けた長期計画を早期に策定・実行すること。
- ③ 医師、看護師を確保するとともに、入所者が日常生活に支障を来さないよう、介護員等の確保を図ること。
- ④ 国立ハンセン病療養所の将来構想について、入所者及び所在自治体等の意見を尊重し、早期実現を図ること

画の対象から、国立ハンセン病療養所職員を除外すること。

国においては、学校現場が直面している様々な課題に対応し、未来を担う子どもたちに質の高い教育を受けさせるため、適正な教員数を確保するよう強く要望する。

平成26年3月卒業予定者の就職内定状況と3月までに実施する就職支援策について
高校生、大学生の10月月末の就職内定率は、昨年同月を若干上回っているものの、リーマンショック以前の水準には届かず、依然として厳しい状況が続いている。
このような状況であるため、年度後半の支援策が非常に重要であると認識しており、10月から12月にかけて就職面接会を10回開催し、延べ630社、1千757人の参加を得た。今後も1

月から2月にかけて面接会を3回、追加で開催する予定である。
また、県内3カ所に設置しているしずおかジョブステーションにおいて、大学生対象の就職相談を実施するとともに、高校生に対しては、学校に出張して面接指導を行うなど、きめ細やかな支援を実施していく。

県内における交通死亡事故件数が増加した要因及び防止対策について
車両単独事故や高齢者関連の事故の増加が主要因

「次期基本計画」策定作業最終局面へ

国への意見書

難病患者に対する医療費助成に関する意見書

静岡県議会議員
つかもと大だい
事務所のご案内

〒425-0062 焼津市中根新田1157
TEL 054-624-1555 FAX 054-624-1333
E-mail tsukamoto-dai@almond.ocn.ne.jp
http://tsukamoto-dai.com

※詳しい内容は、ホームページに掲載してありますのでご覧ください。

QRコードを使って携帯電話でご覧ください。